

ナンバリング	A②08	科目名	フィールドワーク（自然と環境） 「Sense of Wonder in Nepal」	担当教員	鶴田真二	
ディプロマポリシーとの関連性	②・③・④		担当形態	単独		
テキスト	適宜資料を配布する。			単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期 集中
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の最貧国であるネパールの教育困難を理解し説明できる。 ネパールの教育とその他の分野の発展を考え日本が何を手伝えるかを考え提案できる。 日本にもネパールとは異なる教育上の困難があることを理解しその解決を考える。 <p>■授業の概要</p> <p>ネパール西部・ディリチョール村にある本学園の姉妹校（公立幼・小・中・高一貫校）を訪問し、こどもたちに授業を行うと共に村人との交流も図ります。</p> <p>ネパールはチベットとインドの間、ヒマラヤ山脈を擁する国で、面積は日本の約4割、人口は2800万人、一人当たりの年間平均収入は5万円の世界最貧国のひとつでもあります。小学校・中学校は義務教育ですが就学率は100%には届かずに、特に西ネパールでは首都カトマンドゥに比べて生活水準は低く教育の遅れが目立ちます。また、姉妹校のあるディリチョール村はヒマラヤの中腹・標高2600mにあります。小さなプロペラ機で谷間の飛行場に降り、山道を15km歩いて行きます。</p> <p>貧しいけれど明るく生きているこどもたち、村人たちから学ぶことがたくさんあります。</p> <p>■授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 事前学習 <ul style="list-style-type: none"> ネパールの自然・民族・生活・音楽・教育等についての調べ学習を行い、「研修のしおり」を作成する。 研修の準備や注意点等についてのオリエンテーションを行う。 体験研修 <ul style="list-style-type: none"> 9月上旬から中旬にかけて9泊10日で行なう。 タイ・バンコク経由でネパール・カトマンドゥに入り、国内線飛行機と徒歩でディリチョール村へ行く。 村の姉妹校で授業、村人との交流、カトマンドゥで見学研修。 事後学習 <ul style="list-style-type: none"> レポート作成および報告会の準備。 <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ネパールに関連する資料やニュースに関心を持ち、各自、学習すること。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前準備 — 10% 研修時間内での取り組み・行動 — 70% レポートの作成および報告会への参加 — 20% 						
参考文献	特になし。		特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 最少催行人数：3名 費用：国際線約9万円、国内線約6万円、宿泊費・食費・保険費・雑費約5万円を予定していますが、航空運賃やドル円のレート等により変動します。 パスポート取得：各自の責任で行います。 注意：与圧されていない（外気と同じ、ということ）飛行機で4200mまで上がるので呼吸器系・循環器系に疾患がないこと。 【課題等へのフィードバック方法】 レポートにはコメント等を書き加え返却します。 		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格選択		幼保	教養科目		
実務経験のある教員等による授業内容						